

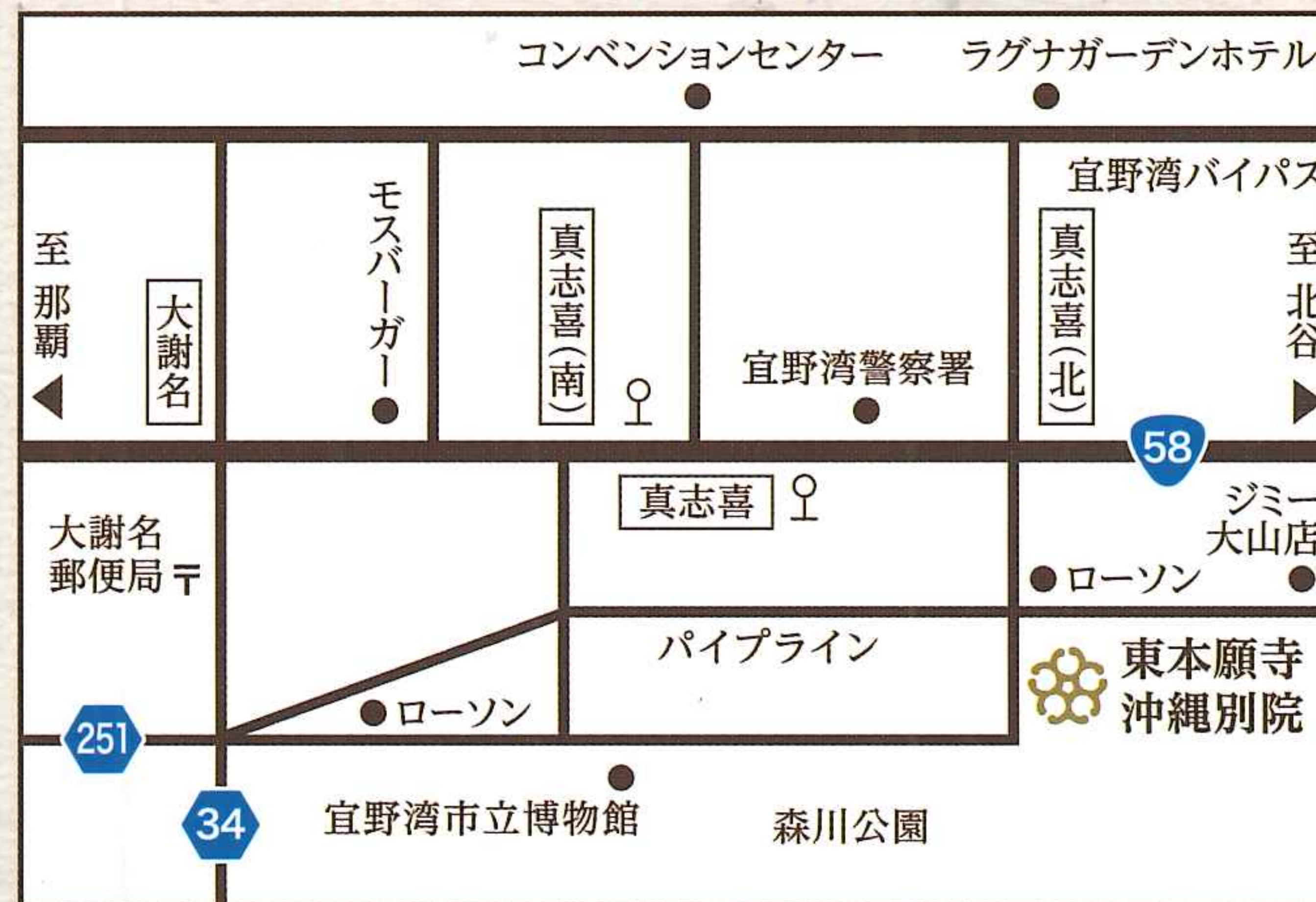
## 東本願寺沖繩別院は 真宗大谷派の寺院です

東本願寺沖繩別院は東本願寺（京都）を本山とする「真宗大谷派」の直轄する浄土真宗の寺院です。阿弥陀如来を御本尊とし、所依の經典は浄土三部經『大無量壽經』『觀無量壽經』『阿彌陀經』です。宗祖として仰ぐ親鸞聖人が説かれた本願念仏の教えを拠り所としています。

沖繩別院では葬儀や法事を執り行うだけでなく、聞法（仏教の話聞くこと）の場を大切にしています。一人ひとりが悩み・苦しみ・悲しむ相（すがた）に向き合い、同時に社会の様々な課題に目を向けます。そして誰もが本当に満足し、共に生きていける世界（浄土）を明らかにしたいものです。

### 【年表】

- 1882年 ● 那覇説教場新築のため、那覇市西村の海岸 400 坪を埋立てる。
- 1884年 ● 那覇説教場落成。
- 1889年 ● 那覇説教場が**琉球別院**となる。
- 1892年 ● 琉球別院が真教寺となる。開基住職は田原法水。
- 1993年 ● 東本願寺沖繩開教本部事務所が設立（浦添市）。
- 1994年 ● 沖繩戦 50 周年追弔法会厳修。
- 1997年 ● 東本願寺沖繩開教本部事務所を宜野湾市大謝名に移転。
- 2010年 ● **東本願寺沖繩別院**、設立。  
※開教本部は別院内に移設



車 / 58号線「真志喜(北)」の交差点を陸側に曲がり100m左手  
最寄りのバス停 / 「真志喜」徒歩5分

真宗大谷派

## 東本願寺 沖繩別院

〒901-2223 宜野湾市大山2-32-21

TEL.098-890-2490

(FAX)098-890-2491

E-mail. info@shinran-oki.org

URL https://shinran-oki.org/



真宗大谷派

## 東本願寺 沖繩別院





## 当別院の御本尊の歴史



玉代勢 法雲  
たまよせ ほうりゅん

沖縄別院の御本尊は2010年4月の設立時に、マカレー東本願寺（1936～2009・米国ハワイ）で崇敬されていた阿弥陀如来像を受け継いでいる。その寺院の設立者が左の玉代勢法雲である。

法雲は9歳の時に琉球別院で僧侶となり、後にハワイへ開教使として移住する。当時の米国で苦しい立場にあった日系人の中であって、さらに不当な扱いを受けた沖縄系移民。彼はその差別や偏見の克服を己の使命と感じ、生涯ハワイ在住沖縄系移民の地位向上に尽力した。

その歩みを見守ってきた阿弥陀如来を当別院の御本尊に迎え、大切にしています。

ひょうがむよう

## 兵戈無用の鐘

ハワイのマカレー東本願寺から受け継いだ梵鐘が別院の屋上にあります。この鐘には「兵戈無用」という言葉が刻まれています。『大無量寿経』の言葉で、「兵隊も武器も無用である」という意味です。ハワイで戦争を経験し、戦後すぐの沖縄の惨憺たる状況を目の当たりにした法雲の思いが表現されています。平和への願いを確かめる梵鐘として大切にしています。



沖縄の  
自然に  
囲まれた  
寺院です



## 土曜礼拝・法座 毎週 土曜日10時～

仏教・浄土真宗の教えを学ぶ機会として、法話を聞き、勤行（お経や偈文を読みます）を行っています。また、親鸞聖人が記した書物や、仏教の経典を現代語で皆さんと一緒に読んでいます。そして、日常の問題や悩み事などを話し合える場所を開いています。

※だれでも参加できる法話会です

## グリーンケアの会（値遇の会） 毎月 第3木曜日 13:30～

大切な人をなくされ、深い悲しみの中にある方々で、その思い語る場を開いています。どんな宗旨の方でも参加できます。



## 納骨堂

大切なご親族のお骨や位牌（トートーメー）をお預かりしています。



## 法事・葬儀・起工式

沖縄の習慣も尊重しながら、葬儀や法事が果たす大切な役割を、仏教のお話を通してお伝えします。また、お供え物や作法についての不安も、仏教の視座からご相談に応じます。葬儀や年忌法要のほか、起工式、初七日、四十九日など承ります。

## その他

- 輪読会 隔週で開催 ※内容と期日はお問合せください
- 公開講座 年5～6回
- 非戦・平和のための取り組み、ハンセン病問題などの取り組み、その他仏教と関わりのある講座の開催

## 年間行事

1月	修正会法要（1日）
4月	はなまつり（お釈迦さまの誕生日）・清明祭法要
6月	戦没者追弔法会
8月	盂蘭盆会（旧暦 7/15）
10月	宗祖親鸞聖人報恩講
12月	成道会、除夜の鐘（31日）